

第3回運営・調整ワーキンググループの実施について

2024年12月26日に、第3回運営・調整ワーキンググループが海外鉄道技術協力協会会議室にて実施された。詳細については、下記のとおりである。

(1) 実施経緯

2023年度より開始した「人材育成・マッチング委員会」では、海外鉄道技術協力協会が担うべき・期待される人材育成事業及び人材マッチング事業の具体的な方針・方策について、議論を重ね、2023年度の最終報告書を取りまとめたところである。

今般、この検討結果を踏まえ、委員会に出席の各社のうち、より少人数で人材育成プログラムや人材マッチングについて調整を行う「運営・調整ワーキンググループ」を設置した。

第1回のワーキンググループは、2024年5月9日(木)に行われ、人材育成プログラムの内容や講師の選定について議論が行われた。第2回のワーキンググループは2024年9月19日(金)に行われ、人材交流・マッチング事業の進捗状況及び人材育成プログラムの知識系講座の作成状況の共有を行った。また、演習講座「鉄道プロジェクトマネジメントシミュレーション」の体験をしていただいた。

(2) 構成員

【メンバー】国土交通省鉄道局国際課長、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、日本鉄道システム輸出組合、独立行政法人日本貿易振興機構、独立行政法人国際協力機構、一般社団法人海外鉄道技術協力協会、株式会社野村総合研究所、株式会社TAOPartners

【進行・調整役】一般社団法人海外鉄道技術協力協会理事長

【事務局】一般社団法人海外鉄道技術協力協会、株式会社野村総合研究所、株式会社TAOPartners

(3) 実施内容

第3回のワーキンググループでは、主に3つの議題について議論を行った。まず、「人材交流・マッチングプログラムの進捗状況について」では、今年度試行している人材交流・マッチングプログラムの各案件についての協議状況を報告した。また、次年度以降、持続的なマッチングプログラムの構築を図るべく、JARTS人材マッチングプラットフォームの構築・試行について(案)について議論

を行った。

次に、「知識系講座の作成状況について」では、担当する野村総合研究所より知識系講座の教材サンプル等について説明した後、その内容について審議を行った。

最後に、「演習系講座の作成状況について」では、「鉄道プロジェクトにおける提案演習」「日本の特殊性からアプローチする異文化理解」「契約交渉ロールプレイ」の内容を紹介した。その中でも、「契約交渉ロールプレイ」では、本番の体験として、発注者の政府サイドと受注者の EPC サイドの 2 班に分かれて、工期短縮についての妥協範囲の探り合いを体感していただいた。



（「契約交渉ロールプレイ」演習講座
体験の様子/発注者政府サイド役班）



（「契約交渉ロールプレイ」演習講座
体験の様子/受注者 EPC サイド役班）